



南側外観



上|南からの全景 下|1階入口まわり

都市部の子どもたちをおおらかな田園環境で受け入れる

芦塚下田保育園 | 設計・監理：風土計画一級建築士事務所

周囲を田園に囲まれたのどかな環境にある保育園の、定員増を見込む建て替えである。新園舎の特徴はその立地を活かした開放的なデザインにある。市街地とは異なり、周囲からの日影や騒音の障害はなく交通の危険性も小さい。園側から周囲へ障害を与えることも起こりにくい。

設計にあたっては、多くの保育士の参加を得て計画ワークショップを重ね、その中で柔軟な間取り、明るく開放的な保育室への期待が高まっていた。

構造は鉄骨造の3階建てで、中央の大きな階段を囲む形に保育室を置いている。間仕切り位置を変更可能な造りとして年ごとの園児数の変化にも対応する。ホワイトとオレンジの基調色は田園の四季の風景によく馴染む。また軽快な外観構成、透明感のある開口部のデザインにより、おおらかな園のイメージをアピールしている。

市では来年度「送迎保育ステーション事業」を始動させる。これは、遠距離からの利用を可能にするための送迎ネットワークを構築するもので、市街地の待機児童を郊外の比較的ゆとりのある保育園で受け入れることを可能にする。市中心部に偏る保育ニーズの分散と周辺部の空き定員の活用、積極的に環境良好な郊外園へというニーズへの対応にも期待があり、本園も当事業への参画に名乗りをあげている。

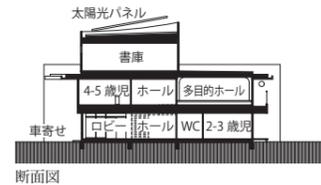
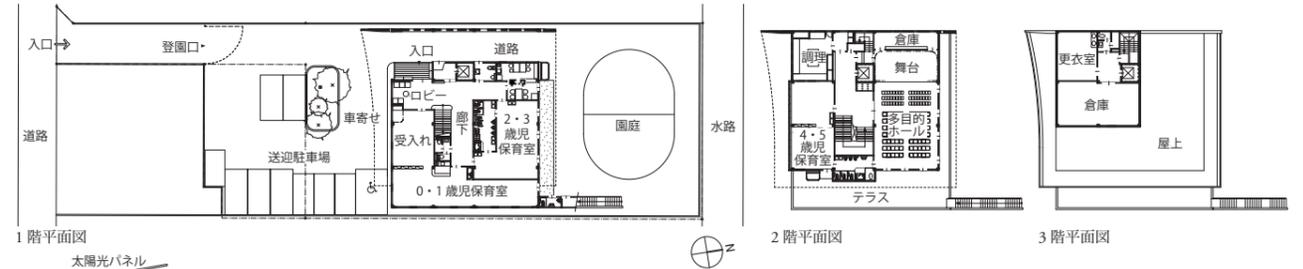
(大坪克也)



送迎保育ステーション事業の概念

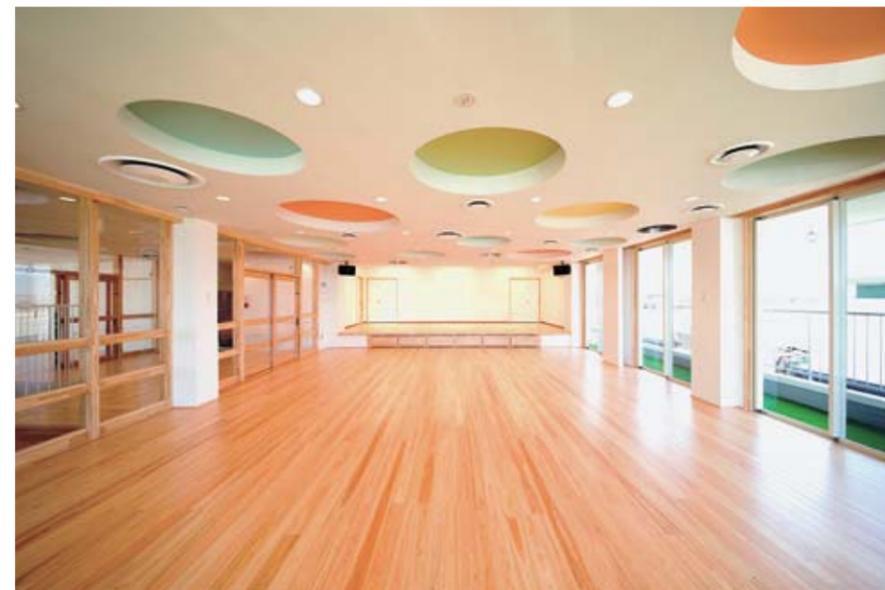


2階4-5歳児保育室

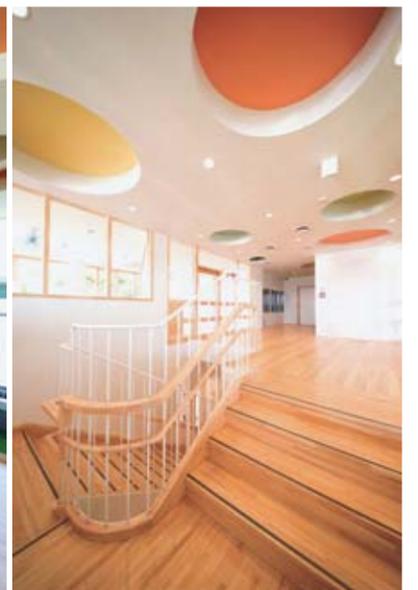


断面図

所在地	久留米市城島町芦塚3-8	施工	建築：テラシマ	敷地面積	1,100.08㎡
建築主	社会福祉法人 青木会	電気	九電工	延床面積	690.41㎡
用途	保育所	空調	中島空調設備	竣工	2018年6月
定員	60名	衛生	尾形設備	撮影	根本写真事務所
設計担当	大坪克也	構造・規模	S造 地上3階	備考	構造設計 / 川崎構造設計 設備設計 / シード設計社



2階多目的ホール



階段